

## 医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 16 年 6 月 29 日 (月) 午後 4 時～午後 6 時 30 分

場 所：医学部非常勤講師控室

出 席：徳留信寛 委員、郡 健二郎 委員、長尾正崇 委員、岩瀬弘敬 委員、津田喬子 委員、  
友松諄子 委員、水谷隆治 委員、信國眞載 委員

欠 席：鈴森 薫 委員、森田明理 委員、森 哲彦 委員

### 1 委員長の選任

互選の結果、徳留信寛委員が委員長に選任され、委員長の指名により郡 健二郎委員が副委員長に選任された。

### 2 審議案件

#### (1) 受付番号：170

研究課題名：大腸がん検診コホート集団中の症例対照研究

申請者：健康増進・予防医学 講師 鈴木貞夫

##### 審査の概要

申請者から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

個人情報保護の具体的方法、原票の保存及び廃棄方法等について審査した結果、研究内容については問題ないと判断されたが、説明書について、冒頭の説明文が小さいため問診票と勘違いされるおそれがあるのではないかと、協力は任意であり、拒否することもできる旨を明確にしたほうがよいとの指摘があった。

##### 結論

上記意見に基づき説明書を修正することを条件に承認する。

#### (2) 受付番号：171

研究課題名：イランカスピ海沿岸における胃がん・大腸がんの宿主・環境要因の研究

申請者：健康増進・予防医学 講師 鈴木貞夫

##### 審査の概要

申請者から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

検体の運搬、サンプル数の妥当性等について審査し、研究内容については問題ないと判断されたが、以下の点について指摘があった。

説明文に遺伝子解析を行う旨の記述を追加する必要がある。また、説明文及び同意書について、ヒト遺伝子解析研究で使用される内容を参考に必要な項目を網羅したほうがよい。

##### 結論

上記意見に基づき説明書及び同意書を修正することを条件に承認する。

##### その他

ヒト遺伝子に関わる研究の審査について、本委員会とヒト遺伝子解析研究倫理審査委員会との境界が明確ではないので、研究科として基準を検討する必要があるとの認識が示された。

#### (3) 受付番号：172

研究課題名：ヒトマクロファージからの ABCA1 経路によるコレステロール排出の研究

申請者：代謝細胞生化学 1 教授 横山信治

##### 審査の概要

申請者から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審議の結果、研究内容については問題ないと判断されたが、以下の点について指摘があった。  
被験者の感染歴等について事前検査を行うこと、その費用負担、および異常、感染歴が疑われる場合の対応について明記すること。また、誤字を修正すること。

(2) 結論

上記意見に基づきプロトコルを修正することを条件に承認する。

(4) 受付番号 : 173

研究課題名 : 24 色 FISH 法を用いた習慣流産における均衡型染色体異常保因者の未検出付加的染色体微細構造異常の検討

申請者 : 生殖・発生医学 教授 鈴森 薫

審査の概要

申請者(代理 杉浦真弓助教授)から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

個人情報管理者およびカウンセリング担当者は、本研究に携わらない者とすべきであるとの指摘があった。また、遺伝子解析を伴うためヒト遺伝子解析研究倫理審査委員会での審査すべき研究であるとの指摘があり、審議の結果、本委員会での審査対象ではないとの結論に達した。

結論

非該当。改めてヒト遺伝子解析研究倫理審査委員会に申請するよう勧告する。

(5) 受付番号 : 174

研究課題名 : 採取された検体の医学教育、診断精度管理、医学教育への使用について

申請者 : 臨床分子情報医学 教授 溝上雅史

審査の概要

申請者から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審議の結果、研究内容については問題ないと判断されたが、以下の点について指摘があった。  
同意書中、各項目の主体が統一されていないので、表現を修正すること。また、説明書に「同意を撤回した場合は検体を廃棄する」旨の項目を追加すること。

結論

上記意見に基づき説明書及び同意書を修正することを条件に承認する。

(6) 受付番号 : 169

研究課題名 : 強迫性障害に対する行動療法の治療効果、および行動療法前後での頭部 SPECT および高次脳機能検査による病態器所の研究

申請者 : 精神・認知・行動医学 教授 古川壽亮

審査の概要

申請者(代理 仲秋秀太郎講師)から、申請書に基づき研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審議の結果、以下の点について指摘があった。

説明書の中で「放出される放射能の量は微量」とあるが、具体的な数値を示したほうがよい。  
説明書の内容に難解な部分があるため、できるだけ平易な表現にすること。同意書に「同意を撤回できる」旨の記述を加えること。また、説明書と承諾書は分離したほうがよい。

内容が多岐にわたっているが、目的を絞り、SPECT 検査単独とすることも考慮してはどうか。

結論

上記の委員会意見を参考に申請内容の再検討を求め、修正後の申請書に基づき委員会で再審

査することとする。

(7) 受付番号 : 168

研究課題名 : パニック障害と社会不安障害に対する認知行動療法の治療効果およびその予測  
因子の研究

申請者 : 精神・認知・行動医学 教授 古川壽亮

申請者が都合により欠席し代理者が出席したが、当該代理者は研究分担者となっていなかった。委員会における説明者は研究主任者または研究分担者でなければならないとの委員会の判断により、次回の委員会において有資格者の出席を求め審査することとした。

### 3 その他

委員会は、概ね 2 か月に 1 度定期的を開催することとし、必要に応じて臨時開催、持ち回り委員会開催を併用することとした。次回は 9 月 1 日(水)午後 4 時から。